

商店街ネットキャビン令和8月アンケート

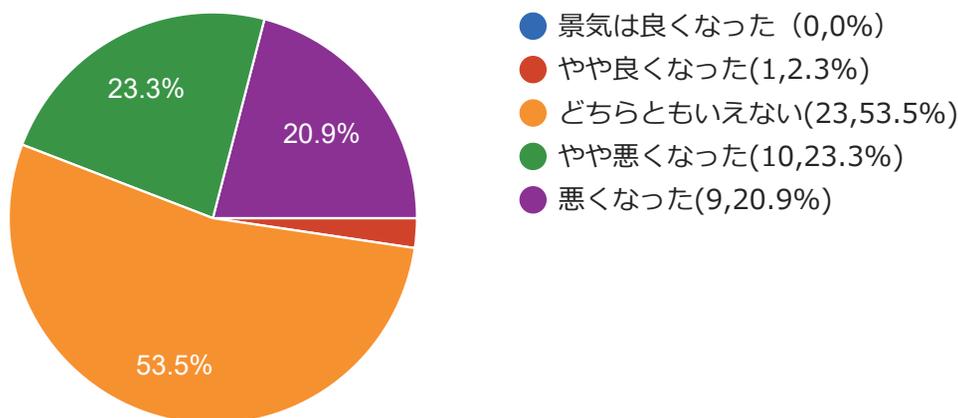
実施期間： 令和4年7月28日～8月8日
対象者： 県内の31地区のモニター61人
総回答者数： 43人（県内28地区）

～景況感について～

1. あなたの所属する商店街（もしくは、お店が立地する地域）での、最近の景況感を教えてください。以下から、一つだけお選びください。（最近の3ヶ月間を振り返って）

43件の回答

◆「どちらともいえない」が最も多く、53.5%だった。

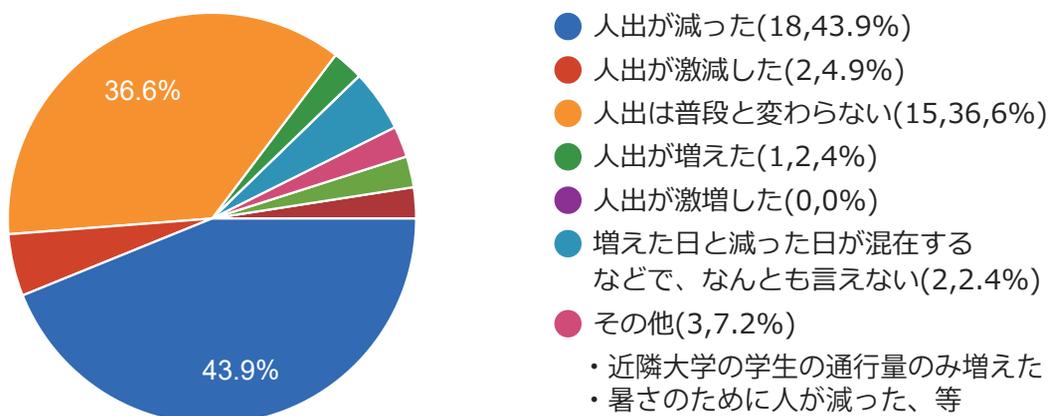


～コロナ流行・第7波について～

2-1. 新型コロナウイルス感染症は、この7月中旬から流行の兆しがあり第7波が始まったとされています。あなたのお店があるエリアや商店街では、街を歩いている人出については、どんな兆候が見られますか？ 6月ごろの様子と比較して、以下の中から選んでください。

41件の回答

◆「人出が減った」が最も多く、43.9%だった。次は「人出は普段と変わらない」が36.6%となった。



2-2. 加えて、あなたの街は、新型コロナウイルス感染症の流行（第7波）によって、どんな影響を受け始めていますか？ 商店街活動のことやご自身のお店のことなど自由にご記入ください。

41 件の回答

◆コロナ禍における様々な影響について報告があった

[イベント開催の判断、予定を立てるのが難しい]

- ・イベント開催の判断が難しい。予定を立てられない。
- ・当商店街はコロナ第7波前に夏まつりを開催しました。来場者は想定外の2日間で1万人越え！今振り返ってみると震えが止まらなくなります。その後、コロナ感染者が急激に増えてくるに従い来店客が神経質になってきた様に見受けられます。
- ・開催予定のイベントについて再検討が必要となった
- ・イベントを開催するかしないかの意見が割れる商店街は、皆中止している。

[イベントができず、人出が減少]

- ・商店街は盆踊り大会中止、お店はお客様の減少
- ・イベントが未だ出来ない。夜は、ひとがいない。
- ・イベントをキャンセルしましたし、割と身近に新型コロナに感染した方が増えてます。
- ・夏祭りができなくなった
- ・8月初旬2件のイベントを一週間前に中止と延期にしました
- ・神社のお祭りが中止と為ったやはり人が動かないと売り上げが減ります。
- ・商店街のイベントはコロナ禍で数年何も開催出来ていない

[人出が減っている、感染拡大で景況感が悪化]

- ・イベント(朝市)はコロナ対策をしながら従来どうり、増えた日と減った日が混在すると答えましたがトータルではマイナスになると思います。売り上げが減っているのです。
- ・人の出が減少した
- ・地域高齢者施設が外出制限を始めた為、客数が減った
- ・売上が良くなって来た矢先に第7波の報道・・・急に財布のヒモが固くなります。
- ・コロナの感染者の増がなければもっと来客が増えたのかも。
- ・高齢者の来店頻度が減り、それにより全体の客数が減少している。
- ・来店者数が減少、とくにファミリー層、10代の感染が多く、その家族も濃厚接触者となる。

[それぞれの業種で明暗]

- ・酒類提供の飲食店は厳しいと感じている
- ・旅館のキャンセルなどの影響が少なからずあります
- ・以前の緊急事態宣言・まん延防止措置期間の方が食料品を扱う私の店では忙しかったが、第7波では今のところ何もないので売り上げが落ちている。
- ・各飲食店から宴会などの予約が立て続けにキャンセルになったと聞きます。
- ・事業主体が祭礼関係なので売上が激減した。
- ・休業する店舗が増えた。
- ・夜の客の減少、宴会の中止
- ・大人数での来客がない

[影響なし]

- ・現状、特段の影響は聞かれておりません。
- ・大きな影響は感じられないがイベントの三密をどのように避けるかが課題となっている

[感染症対策をしてイベントを実施]

- ・自店に関しても売り上げが上がっていたが感染拡大に伴い客数が減少して来た。ただ、コロナ初期の頃から感染対策をしっかりと行ない業務用の空気清浄機などの設備投資を続けて行なって来ているのでここなら安心してこれと来店してくれるお客様が多く他店に比べ影響は少ない方ではないかと思う
- ・良いか悪いかは別として商工会青年部の「納涼祭り」が開催されたが超過密の盛況であった。主催者側も参加されているお客様も
- ・5年前まで開催していた夏祭りを商店街有志で開催しようとしている。かなりな人手になるので、興味深い。

[商店街運営]

- ・理事役員会の中止。来街者の減少。
- ・役員会の開催を見送った

[実際に感染者等が増え、影響]

- ・濃厚接触者が急速に増え 仕事が廻らなくなっている
- ・濃厚接触者が増え始めたせいで運営に支障が出ている

[対策が効いてきた]

- ・アイドルマスターSideM と相模原市 特に淵野辺とのコラボによって 街への訪問客が明らかに増となっております。飲食での参加店に於いては はっきりとその関係のお客様がだいぶ来られたようです。(コロナの感染者増とは関係なく増えたようです)

3-1. コロナの流行により、あなたの街やお店で、コロナ禍以前から完全に変わってしまったことはありますか？ 自由にご記入ください。

34 件の回答

◆生活スタイルの変化などが挙げられ、とくにキャッシュレスのお客が増えたという意見が多かった。

[生活スタイルの変化により、売れなくなった]

- ・七五三・結婚式・成人式等の予約減少
- ・自店の婦人服店では、高価格帯の外出着が不振。
- ・お客様が旅行に行ったりイベント参加もなくなり、それに関する仕事が激減しました
- ・コロナ禍により、店舗側が営業時間短縮や休業に慣れてしまい、セールスチャンスを逃している。
- ・飲み会がない、宴会・パーティがない
- ・ご贖戻さん・常連さんの割合が増えている、新規顧客開発が必要。キャッシュレス決済の割合はアップ。

[来店客の傾向の変化]

- ・閉店時間が早くなり回転数が落ちた。
- ・来店されるお客様が当店の感染対策をちゃんとチェックしている様に見受けられます。・年金支給日前後は今まで通り又はちょっと減ったくらいですが、それ以外は減っています。
- ・大勢での飲食店利用が無くなってしまった。お客様の引きが早い為、店を早く閉めるお店が増えた。
- ・営業時間が短縮して、ひと段落した後も閉店時刻は戻さず早まったまま、そのせいでお客様の引きが早くなってしまった
- ・今だに「人」と会うのを控えている人が、そこそこ多くいる

[来店客が減少]

- ・例にもありません通り高齢者の来客が極端に減っているように感じます。
- ・暑さとコロナで高齢者以外も平日の一通りは格段に減っています。
- ・とにかく人通りが激減
- ・日中の人通りが元に戻らない。

[キャッシュレスのお客が増加]

- ・特には無いが、キャッシュレスのお客様が増えた事は確か。
- ・キャッシュレス利用客が増えたと聞きます。
- ・キャッシュレスのお客様が徐々に増えている
- ・若い世代の来客が増えてきている キャッシュレス対応に遅れている店の売上低迷が見えてきている。高齢者70歳以上でも購買力のある方はクレジットカードやpaypayをはじめQR決済を積極的に使う傾向が顕著にみられるようになった。
- ・コロナと関係あるのか分からないが、キャッシュレスの利用者が増えました
- ・かながわペイなどの消費喚起策が後押ししていると思います
- ・キャッシュレスはコロナとは関係なく増えた、夜の人出が減った

[商店街会員の減少]

- ・何店かの店は 商店会から辞めたりした店があった。アルバイトを止めさせたのでイベントへの参加が出来なくなったので 辞めますとの理由から。
- ・通りの店舗数が減った(コロナで高齢者で商売をしていた所が辞めてしまった)
- ・高齢者の来街が減った。

3-2. 加えて、そのコロナ禍以前から完全に変わってしまったことについて、あなたの商店街やお店が、うまく対応できなくて困っていることはありますか？なんでも自由にお書きください。

26件の回答

◆売上の減少をはじめ、店の運営に支障が出ていることなどが挙げられた。

[売上の減少・客数の減少]

- ・売上が減少していること
- ・感染症対策に伴い席数を減らしたことによって売上が減少したことはよく聞きます。それでも試行錯誤して奮闘していますが、小規模(1~2人)で営業しているところはそれ以上の対策が出来ず苦しい状況とも聞きます。

[店の運営に支障]

- ・バイトを使わなくなって 忙しくなると対応が出来ない店が 何店かあるようです。
- ・コロナ禍を理由に営業時間短縮や休業に対して、店主がなんとも思わなくなり、競合他社に差をつけられている。
- ・感染対策で入店人数やグループ人数を制限している
- ・物価高や、大手の安売りで小規模店舗は、営業環境がさらに厳しい。

[イベント実施の判断]

- ・イベントの開催or中止は国や県の制限によって決めるので問題はないが…。やはりプレッシャーはヒシヒシと感じます。
- ・商店街イベント開催の判断が非常に難しい
- ・意見の違いがあり、イベントの開催の予定をなかなか立てられない。
- ・イベントは完全に開催しなくなった

[新しいルールなどに翻弄される]

- ・イベント開催の判断、お客様入れ替えごとのアルコール消毒等によってオペレーションが増え、またアクリル板の仕切りにより座席数も減り客数が減っている
- ・gotoeatなど県主体の施策がどれもこれも行き当たりばったりすぎて、翻弄されています。急に期間が変更したり、基準がかわってしまったり。
- ・withコロナにおける開催方法の検討と実施を余儀なくされ、役員含め負担が増えた
- ・感染予防は、もはや公共衛生の考え方で県が消耗品(消毒)等を事業者に配布するべきではと思います。公衆トイレを設置したりするのと同じく、適所に手洗い・感染予防消毒ブースを設置するべきです。それが出来ない場合、商店街の各店に協力を依頼するべきだと思います。

[キャッシュレス決済の手数料]

- ・キャッシュレスが増えた事により、クレジットカードやキャッシュレス決済の決済手数料による利益の減少。手数料等、下げて頂けるか県での補助等あると助かります。(神奈川ペイ以外の物)

[商店街の運営に支障]

- ・大人数の会議ができない
- ・会員店が閉店をしようとした時に、年齢やコロナで客足が減り、ひき止める理由に説得力が追い付かない。

4. これから夏祭り等が開催される商店街も多いと思います。これから近々にイベントを控えている商店街の方は、現在の方針と開催時期等を教えてください（開催をする・延期を決めた、等）。またその理由や判断基準なども教えてください。

33 件の回答

◆判断基準は、行政や地域の自治体に従うというところも多かった。

[ウィズコロナでイベント開催方針]

- 基本的にはウィズコロナでやる予定です
- テレビ等の報道に洗脳されず(感染者数だけを煽る偏向報道)、しっかりとした見解を自分自身で持ち、最低限の対策を講じながら安心安全で楽しいイベントをこれからも開催していく予定です。
- 特に制限がかからない限り可能な範囲で開催
- 3年振りに縮小した形となりますが8月から縁日を開催予定。商店街事務所に開催か否か問い合わせが多く入っていてお客様が楽しみにしているのが分かります。マンボーや緊急事態宣言が発令されない限り開催したいと思っています。

[緊急事態宣言・まん延防止が出たら中止する]

- 3年ぶりの夏祭り開催。県の指針の沿ったコロナ対応で 更に民間救急車(熱中症対策及び緊急時のコロナ対応)とクーラーの常時入ったバスを待機させて 熱中症の予防に努める。開催中止の判断は 緊急事態宣言・蔓延防止が出たら中止するとの実行委員会での方針。

[都度、様子見しながら開催]

- イベントは規模を縮小して開催し、様子を見ている

[自治会等の方針で中止]

- 県のイベントに係る感染防止対策についてのガイドラインに当てはめると開催可能ではあるが、この状況で開催するのはナンセンスという外圧を考えると中止はやむ無しとなってしまいます。
- 近隣の自治会のイベントも中止しているため
- 当商店会は、自治会との夏祭りを開催しており、自治会の判断により中止が決定致しました。

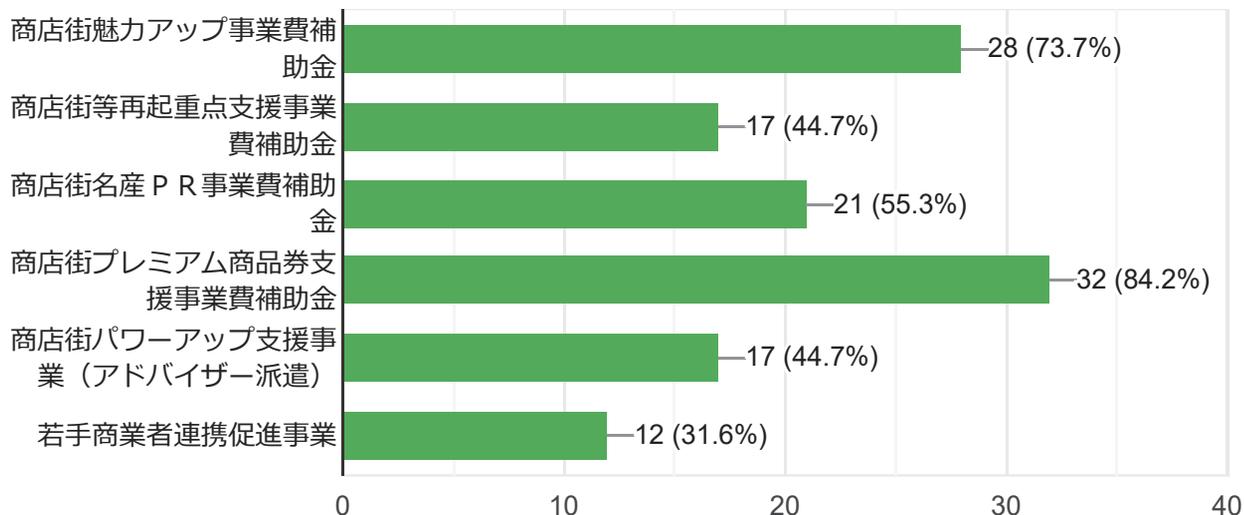
[その他]

- 大勢の集客イベントはリスク(開催の有無)が大きい。小規模イベント(ワークショップ・ゼミナール・セミナーなど)を数多く増やし、これが個店のアピールにもなる。
- 行動制限が出ない中での判断が非常に難しくなっているように思います。
- 方針という方針はあまりないですが、10月にハロウィンを行う予定です。例年、減少傾向にある秋頃であること、また、感染者が減少傾向にある場合は実施の方向と考えておりますが、このまま増加傾向にある場合はやむなく中止も視野に準備を行っている形です。
- 商店街プロレスイベントの開催を予定しております。緊急事態宣言等の行動制限がない場合は感染者数が減っていなくても開催予定です。座席の間隔をあけることや立ち見の間隔をあける対策を行い、飲食ブースも出さないようにします。

5 - 1. 神奈川県・商業流通課では、今年度は以下のような商店街支援の事業を行っています。この中で内容を知っているものを教えてください

38 件の回答

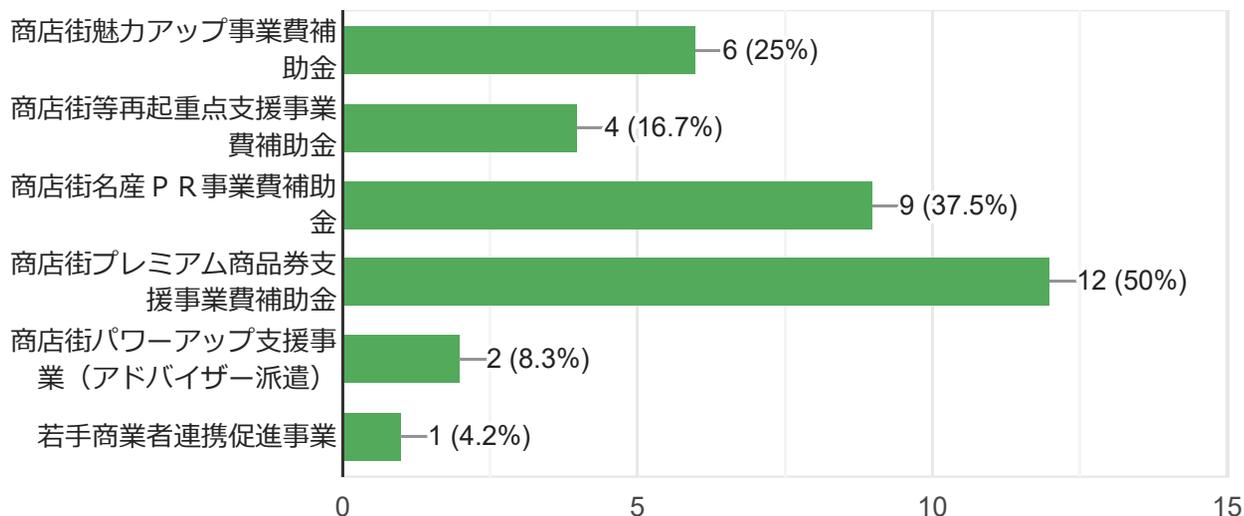
◆商店街プレミアム商品券事業が84.2%で最も多かった。



5 - 2. 上記の中で、あなたの所属する商店街や、エリアで実際に応募して活用したものがあれば教えてください。

24 件の回答

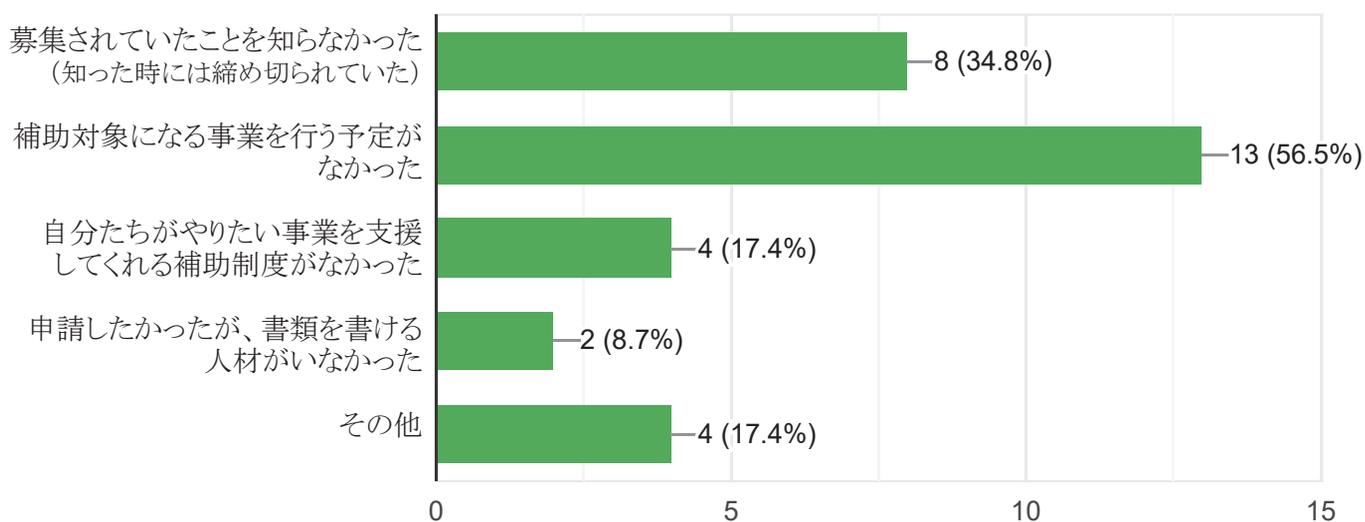
◆応募して活用したものについても、商店街プレミアム商品券事業が50.0%で最も多かった。



5-3. 逆に、あなたの商店街やエリアで、これらの支援策が活用されていない場合は、その理由に近いものを以下の中から選んでお答えください。

23件の回答

◆補助対象になる事業の予定が無かった、が一番多く56.5%だった。



[その他の内容]

- ・長年利用していたので新案がなく対象外通告。何年であれ、頑張る商店街には補助をお願いしたい
- ・売上報告をしなくてはいけないことが、商店街会員の理解を得られない。
- ・申請要件がいろいろあり徹底実施できない。
- ・プレミアム商品券は、売上報告がネックです。国の助成金も通行量調査でOKなものもありました。各部署のいろんな要件をいれたら商店街は実施できません。
- ・使い勝手が悪い、規模が小さい

5-4. 今、あなたの商店街やエリアで困っていることに対し、県からどんな支援があれば助かると思いますか？ 参考までに教えてください。

21 件の回答

◆プレミアム商品券事業の継続など、具体的なものが寄せられた

[具体的なもの]

- ・防犯カメラ設置の全額補助
- ・キャッシュレス手数料補助金支援
- ・商店街団体が活用できるDXに特化した補助制度などがあれば助かります。
- ・街路灯に維持管理費の補助金
- ・飲食店以外の業種にも助成金支援
- ・デジタルサイネージを継続的に補助してもらえたら
- ・街路灯の塗装工事をしたいと考えている。何かあてはまる補助制度があれば…。
- ・小規模商店会で、事業費50万円以下でも活用できる補助制度かな
- ・商店街が所有している施設の修繕、整備についての支援(新設は補助があるが、維持管理については補助が無い)
- ・今年度で終了予定の商店街プレミアム商品券支援事業費補助金などは、次年度以降も継続していただくと、商店街活性化に繋がる。
- ・販促補助金(補助率が高いもの) ※コロナにより市の販促補助金が全カットになりました

[もう一步踏み込んだもの]

- ・QR決済やプレミアム商品券事業を小さな商店街単位でも金銭的・人的負担なくパッケージとして行えるようなノンストレスのパッケージ開発及び落とし込み。
- ・商店街の店舗の中で宅配サービスを検討している商店などに対し、なにか前向きに取り組んでもらえるような支援策があってもおもしろいと思います。
- ・企画の種類にとらわれず、良い企画には良い補助。ニーズのある企画にはニーズに応えるための補助率。高度成長期以降、豊かにならない状況にあり商店街を衰退させないための補助。

[大型店・チェーン店の加入促進に関すること]

- ・イトーヨーカ堂、加入してもらえません。ドラッグストアも加入してもらえません。
- ・ケンタッキー・オリンピックも加入しません。大手企業の加入促進を図り、毎年、加入の努力目標の計測を実施してください。本社に行かれる場合は、同行して現状を説明させていただきたいです。

[アイデア、アドバイス]

- ・企画に対して他地域の成功事例の紹介やアドバイス
- ・コロナ下でのイベント開催のルール作り

[その他]

- ・神奈川県は、横浜市に比べ難易度が高い
- ・商店街活性化条例が骨抜きになってます。
- ・まず、各商店が継続を含めて切実な状況にあり商店会活動どころではなくなっている。
- ・伊勢原でも以前役員だった16店のうち廃業6店移転2店継続8店うち後継者問題2店となっている。この流れは止めることができない。
- ・意味のない規制はしない。
- ・鳩がアーケード内に巣を作り卵を産んで糞害で困っている。

- ◆感況景は、「どちらともいえない」が最も多く、53.5%だった。
- ◆第7波の流行については「人出が減った」が最も多く、43.9%だった。次は「人出は普段と変わらない」が36.6%となった。
- ◆受けている影響については、イベント開催の判断がつかないなど、具体的な事柄が挙げられた。

- ◆コロナ禍以前から完全に変わってしまったことは、生活スタイルの変化などが挙げられ、とくにキャッシュレスのお客が増えたという意見が多かった。
- ◆それにより対応できなくて困っていることとしては、売上の減少をはじめ、店の運営に支障が出ていることなどが挙げられた。
- ◆イベントの開催方針としては、行政や地域の自治体に従うというところも多かった。

- ◆県の商店街支援制度については「商店街プレミアム商品券事業」が84.2%で最も多く認知されていて、実際に応募をして活用したと回答があったものも同事業で、50%だった。
- ◆支援策が活用できない理由については「補助対象になる事業の予定が無かった」が一番多く56.5%だった。
- ◆県からあると助かる支援については、プレミアム商品券事業の継続など、具体的なものが寄せられた。